

合同会社ミーシャ

自宅での簡易検査

寝る前に腕に簡単な検査装置を
装着して寝ていただきます。

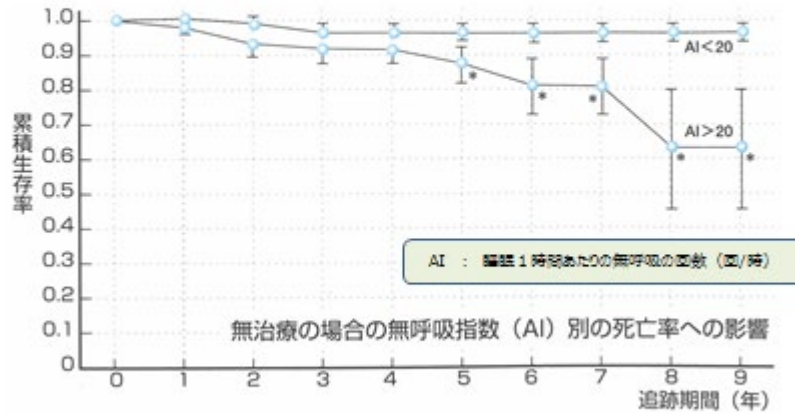


人は人生の約 1/3 ほどの時間は睡眠にあてています。
 夜眠れないという症状は、誰でも経験のあることです。
 そのなかで、睡眠中の呼吸障害のため慢性的に睡眠不足の状態にある人は日本でも人口の 1% (約 100 万人) 近くいることが推定されます。重篤な人では、日常の活動低下にとどまらず、心臓病、脳血管障害などの合併症を起こすことが知られています。現在では重篤な人にも治療法が確立されておりますので是非活用され頂きたいと考えております。

10 秒以上息が止まることを無呼吸と言います。無呼吸が一晩に 30 回以上、あるいは 1 時間あたり 5 回以上あり、いろいろな症状を起こす病気を睡眠時無呼吸症候群といいます。この病気の人には寝ているときに何回も息が止まるので酸素が不足し、このため心臓に負担がかかり高血圧、肺高血圧、不整脈、体のむくみをおこします。このため正常の人にくらべて狭心症、心筋梗塞、脳梗塞などの病気が多く、寿命も短いことがわかってきました。



睡眠時無呼吸症候群は寿命を短くする



日本評論社発行「睡眠時呼吸障害 Update」180頁 図12-2より転載引用

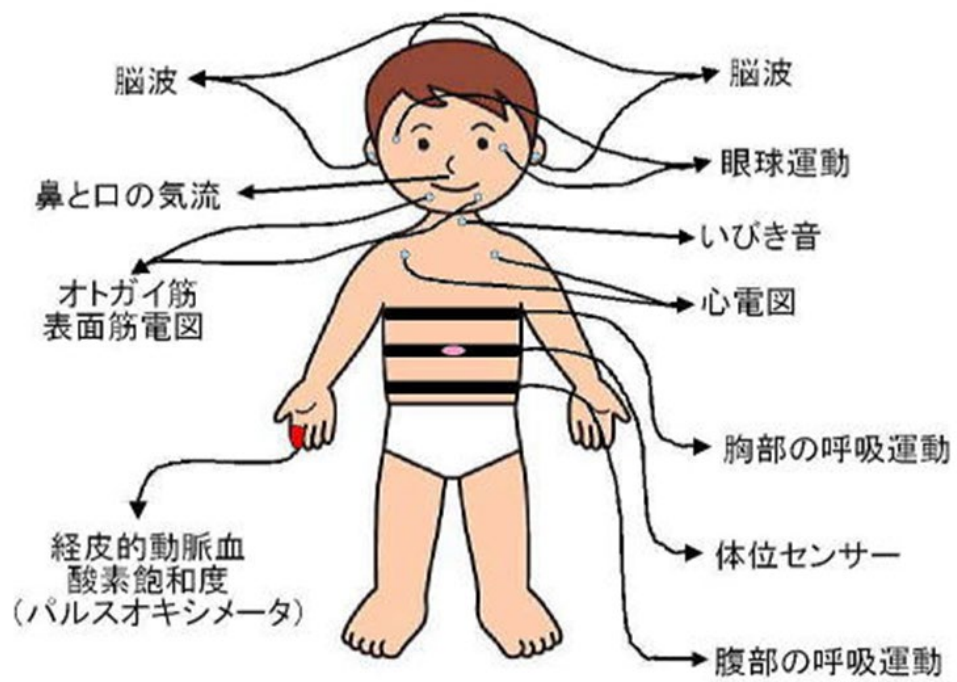
当社では「就眠時にパルスオキシメーター」を用いてスクリーニング検査を行います。異常所見をみとめた場合には専門医療機関に紹介してポリソムノグラフィー検査をおこなっていただきます。

就眠時パルスオキシメーター



就眠時に動脈血酸素飽和度と脈拍数を測定します
睡眠時無呼吸症候群の方は就眠中に動脈血酸素飽和度が低下します。

医師が判定し異常であれば精密検査(ポリソムノグラフィー)を施行

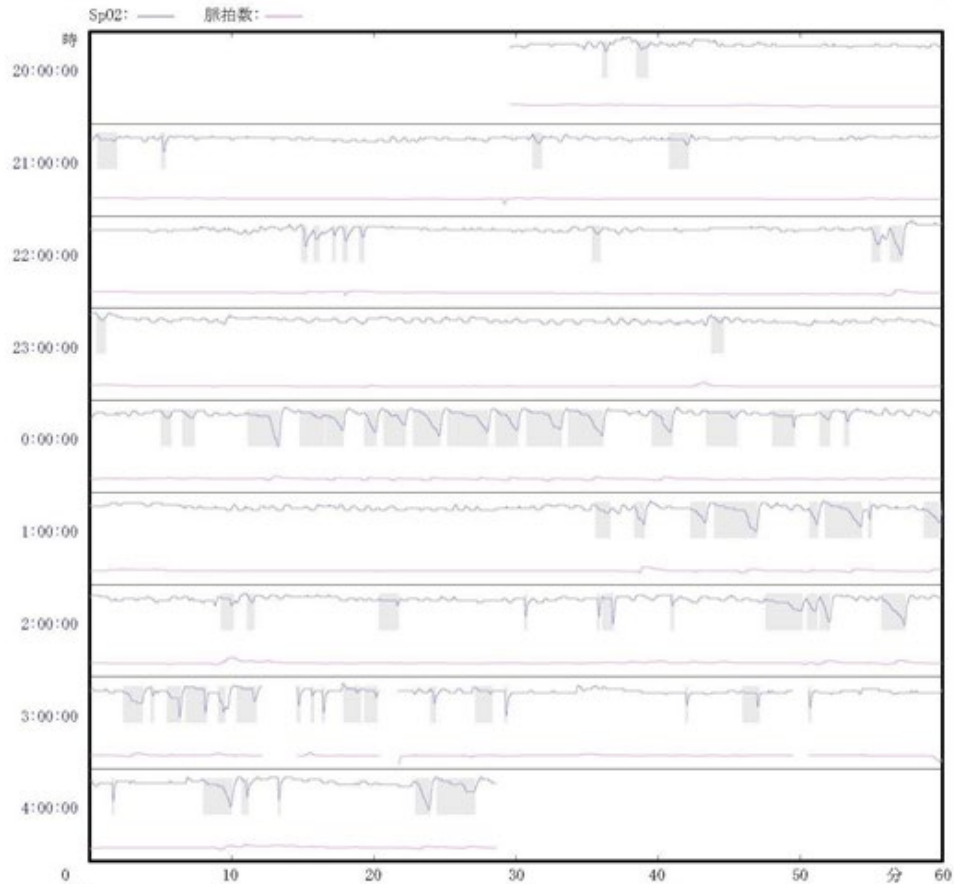


ポリソムノグラフィー

SpO2レポート

氏名: ○× △□
ID: 12345

F3
1/1 頁



SpO2降下指数 (ODI)	:	9.4	回/時	(回数: 75 回)	
SpO2降下時間	最小:	8	秒	22日 2:35:45	
	平均:	59	秒		
	最大:	180	秒	22日 1:43:58	
脈拍数:	最小:	38	拍/分	22日 3:21:43	
	平均:	76	拍/分		
	最大:	98	拍/分	21日 20:29:37	
SpO2:	最小:	77	%	22日 0:13:14	
	平均:	95	%		
	最大:	100	%	21日 20:37:31	
ODI (自動計測結果):		21.9 (2%)		14.3 (3%)	9.4 (4%)
降下レベル	≤	4	%	降下後の上昇レベル	≤ 2 %
降下時間の上限	≤	180	秒	上昇時間の上限	≤ 60 秒

結果判定に関しては1時間当たりSpO2が3%以上低下した平均回数が15回以上を重症睡眠時無呼吸症と判断されます。ポリソムノグラフィーの精密検査が必要となります。